

今月のピックアップ

黄化えそ病(きゅうり)

学名 : *Mellon yellow spot virus (MYSV)*



ミナミキイロアザミウマ

えそ症状



果実の
モザイク症状



発生初期の黄色斑点

生態と被害

発生初期には、葉に黄色い斑点が現れ、その後、症状が進行すると葉脈間が激しく黄化し、えそ斑を生じる。きゅうりの一部の品種ではモザイク症状を生じる場合もあり、果実が奇形となる場合もある。症状が激しい場合は枯死することがある。汁液伝染はするが、感染力は弱く、管理作業で伝染する可能性は低い。種子伝染はしない。黄化えそウイルス(MYSV)はトスポウイルス属の一種である。ミナミキイロアザミウマが幼虫時に保毒し、成虫となって、健全な植物を吸汁することで永続的に伝搬させる。

きゅうりとメロンに自然感染するが、接種試験では、にがうり、すいか、とうがん、へちま、ゆうがお、ペチュニア、タバコ等も感染することが知られている。現在のところ、県内では沖縄本島でのみ発生が確認されている。

○病害虫防除技術センターが発行する情報の入手には、当ホームページ
(<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>)をご利用下さい。